

施工説明書



RoomCloser ルームクローザー RCC-SHT 戸袋仕様

建具仕様

- 木製片引戸・戸袋納まり
- 重量 30kg以下
- 厚さ 28mm 以上
- ストローク 1,200mm 以下
- 戸幅 655 ~ 1,360mm
- 引き残し 100 ~ 130mm
- かぶせ 30mm 以下

部品構成

名称	数量
①戸先側レール(開口側)に添付	
① 戸先側レール(開口側) [ユニット]	1
③ 戸尻ランナー	1
⑤ レール取付けねじ 【+皿タッピン M4x25】	7
⑥ ホルダー	2
⑦ ホルダー取付けねじ 【+ナベタッピン M4x30 (GB色)】	6
⑨ 下ガイド LG-F2 【付属ねじ: +トラスタッピン M3.5x25 2本】	1
②戸尻側レール(戸袋側)に添付	
② 戸尻側レール(戸袋側)	1
④ キャッチ受け戸尻キャップ 【付属ねじ: +皿小頭タッピン D=6 4x40 2本】	1
⑤ レール取付けねじ 【+皿タッピン M4x25】	7
⑧ 戸当り (H=10) 【付属ねじ: +トラスタッピン M3.5x25 2本】	2
オプション	
⑩ ガイドレール LG-R (L=1,350)	1

参考納まり図

DW: 戸幅
DH: 戸高さ
S: ストローク

レール納まり図

横断面図

姿図

縦断面図

引戸加工図

ホルダー取付け部加工寸法

ガイド溝加工寸法

【オプション】
ガイドレールLG-Rを使用する場合

ご使用上の注意

- 本製品は、高齢者施設・住宅の居室入口や、一般住宅での屋内使用に適した製品です。学校や商業施設などの不特定多数の方が利用される箇所や、過酷な条件下でのご使用はお控えください。
- 屋外や浴室、化学薬品を取り扱う場所でのご使用はお控えください。

△注意 取り付ける枠や壁に変形がないようにしてください。正常な作動を妨げる場合があります。

- 戸は強い力で開閉(急開・急閉)しないでください。作動不具合や破損の原因になります。
- レール内に潤滑剤のスプレーや塗布をしないでください。埃を吸着して作動不具合の原因になります。

困ったときの対応

症状	チェックポイント	対処方法
セルフクローズの途中で止まってしまう	床面(下ガイドのプレート)に戸下面が擦っていませんか。	戸の上下調整を行ってください。
	ブレーキが強く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
	レールが斜めに取り付けていませんか。	レールを水平に取り付けてください。
全開時キャッチが機能しない	キャッチ力を最大まで緩めていませんか。	キャッチ力の調整を行ってください。
ブレーキが掛からない	ブレーキが弱く設定されていませんか。	ブレーキ力の調整を行ってください。
戸の開閉時に異音が発生する	戸が幕板や隣接する箇所を擦っていませんか。	隣接するものと擦らないよう、戸の前後調整を行ってください。
	上レール内にゴミや埃が残っていませんか。	レール内の清掃を行ってください。
	ランナーのタイヤにゴミや埃が付着していませんか。	一旦レールを外し、タイヤに付着したゴミや埃を取り除いてください。
	上レールを取り付けているねじの頭が出ていませんか。	ねじの締め直しを行ってください。

製品保証について

保証期間は建物の引渡日から2年間です。施工説明書やカタログの記載内容に基づく適正な使用状態で、保証期間内に当社製品に起因する不具合が発生した場合は、無償修理または交換をいたします。なお、保証期間内であっても以下に例示する免責事項にあてはまる場合は有償での修理、交換となります。

- 施工の不備に起因する不具合。
- 使用頻度が高いことによる部品の著しい損耗と、それに伴う作動不具合。
- 引き残し寸法の不足や、レールのジョイント箇所での誤りによる不具合。
- 異常な高温、低温または多湿の環境下での使用。
- 建具や枠、躯体の変形に起因する不具合。
- お客様自身による改造、分解、修理に起因する不具合。
- 適用箇所以外、および適用サイズを超える建具を使用した場合。
- 天災などの不可抗力による不具合。

お問い合わせ先

株式会社SKB

〒577-0032 大阪府東大阪市御厨1-5-3

TEL: 06-6785-1013

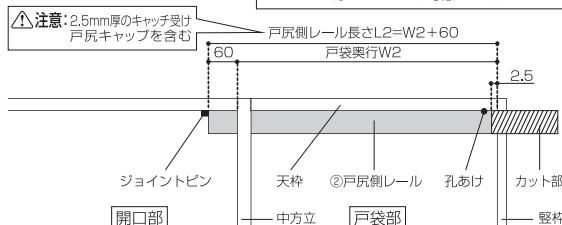
FAX: 06-6788-7035 www.skb-net.co.jp

戸袋側

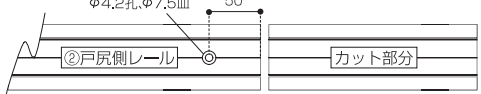
1 戸尻側レールの長さカット・孔あけ

- ②戸尻側レールを必要な長さにカットします。
レール取付け後に中方立からの出寸法が60(±2)mmになるよう、レールの「戸尻側」をカットしてください。

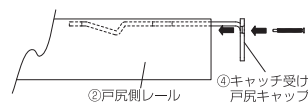
注意:必ずレールの戸尻側(レール木口にジョイントピンのない側)をカットしてください。
カット寸法を決める際には、4.で取付ける④キャッチ受け戸尻キャップの厚み2.5mmを考慮してください。



- 取付孔(φ4.2mm孔、φ7.5mm皿)を1ヶ所、カットした端から50mmの位置にあけます。



- ④キャッチ受け戸尻キャップを付属の取付けねじ(4皿小頭タッピンD=6.4x40 2本)で、②戸尻側レールの戸尻側の木口に取付けます。

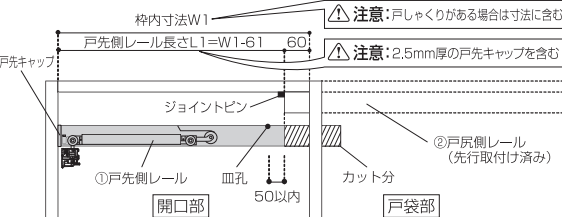


- レール内の切粉や埃を除去します。

開口側

3 戸先側レールの長さカット・孔あけ

注意:戸先ランナーを1,200mm以上動かさないでください。パネが破損する原因になります。

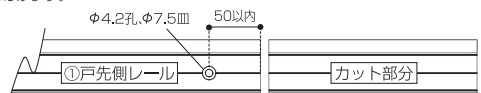


- 図を参考に、①戸先側レールを長さL1にカットします。L1は実測した寸法からマイナス1mmに設定します。

注意:必ずレールの戸尻側(ジョイント側)をカットしてください。
カット寸法を決める際には、戸しゃくりも考慮してください。戸先キャップ(厚み2.5mm)はレール長さに含まれます。

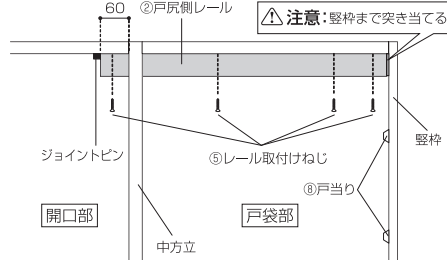
- カットしたレール端から50mm以内に取付孔が1箇所必要です。50mm以内に孔がない場合は取付孔(φ4.2mm孔、φ7.5mm皿)をあけます。

注意:皿取りは必ず行ってください。
ねじ頭が他の部品に干渉すると正常に作動しなくなる恐れがあります。



- 切粉や埃を除去します。

2 レールと戸当りの取付け



- ②戸尻側レールを取付位置に当たった状態で中方立からの出寸法が60(±2)mmになっているか確認します。

注意:レールは堅枠に突き当たります。出寸法が間違っている場合は、手順からやり直してください。
そのまま使用すると開閉時にタイヤがレールのジョイント箇所をまたぎ、正常に作動しなくなる場合があります。

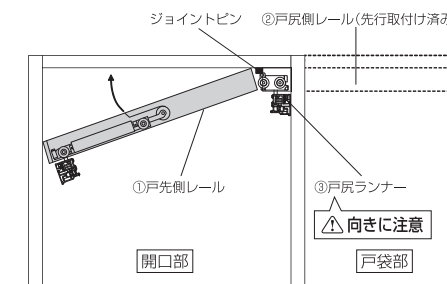
- ②戸尻側レールを⑤レール取付けねじで天枠に留めます。

注意:レールはすべての取付孔を使ってねじ留めてください。
下地にねじが通らない箇所があった場合は、近くに孔をあけ直してください。

- ⑥戸当りを2個、堅枠に取付けます。

注意:同様の戸当りを取付けてください。
異なるサイズの戸当りを使用すると全開時のキャッチ機能が動かなくなる場合があります。

4 レールの取付け



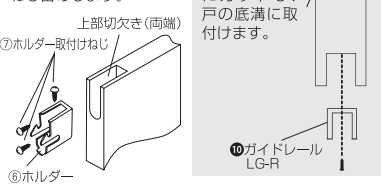
- ③戸先ランナーを、向きに注意して②戸尻側レールに組み込みます。
- ②戸尻側レールのジョイントピンを狙って、①戸先側レールを斜め下方からはめます。
※①戸先側レールが堅枠に少し擦る場合があります。レールがはまらないときはレール長さを調整してください。

- ①戸先側レールをジョイント方向へ寄せながら、⑤レール取付けねじで天枠に留めます。

注意:レールはすべての取付孔を使ってねじ留めてください。
下地にねじが通らない箇所があった場合は、近くに孔をあけ直してください。

5 部品の取付け

- ホルダーの取付け**
- ホルダーを上部切欠き(両端)に入れ、⑦ホルダー取付けねじ(各3本)でねじ留めます。



[オプション] ガイドレールの取付け

- ガイドレールに必要な長さにカットし、戸の底溝に取付けます。

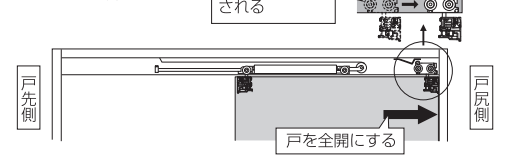
- 下ガイドの取付け**
- ⑨下ガイドの取付け位置を決めます。
 - 向きに注意して床に固定します。(付属取付けねじ:トラスタッピンM3.5x25)



7 動作確認

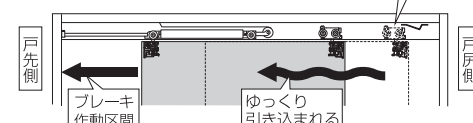
戸を全開にする

戸を全開し、キャッチが掛かっているか確認します。



戸を閉じる

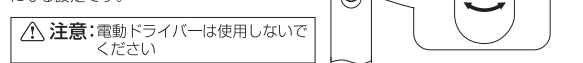
全開状態から戸を引き、キャッチを解除したら手を離します。
戸が自動で引き込まれ、ブレーキが掛かってから閉まりきることを確認します。



8 各種調整

戸の上下調整

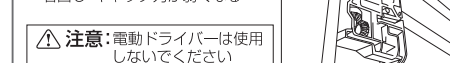
上下それぞれ4mmの調整が可能です。
戸先・戸尻ランナーの「上下調整ねじ」を回して調整します。
※出荷状態はレールと戸の隙間が7mmになる設定です。



注意:電動ドライバーは使用しないでください

キャッチ力の調整

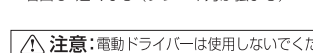
③戸尻ランナーを外し、ランナーの下面にある「キャッチ力調整ねじ」を回して調整します。
※左回し:キャッチ力が強くなる
右回し:キャッチ力が弱くなる



注意:電動ドライバーは使用しないでください

ブレーキ力の調整

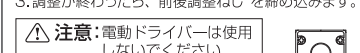
ブレーキ作動区間で戸が閉まる速さを調整できます。
戸先ランナーを外し、ブレーキシリンダーに付いている「速度調整ねじ」を回して調整します。
※左回し:速くなる(ブレーキ力が弱まる)
※右回し:遅くなる(ブレーキ力が強まる)



注意:電動ドライバーは使用しないでください

戸の前後(奥行き)調整

前後それぞれ1.5mmの調整が可能です
1. 戸先・戸尻ランナーを外して下面にある「前後調整ねじ」を緩めます。
2. 戸の前後位置を調整します。
3. 調整が終わったら、「前後調整ねじ」を締め込みます。



注意:電動ドライバーは使用しないでください

下ガイドの調整

前後それぞれ6mmの調整が可能です
1. 固定ねじを緩めます。
2. 下ガイドの前後位置を調整します。
3. 調整が終わったら、固定ねじを締め込みます。



注意:電動ドライバーは使用しないでください